

平成２９年度

第１回秋田県農山村ふるさと保全検討委員会

【資料２】

秋田県中山間地域土地改良施設等保全基金
の実施状況等について

平成28年度 事業実績について

■中山間地域土地改良施設等保全基金の説明とその運用について

中山間地域における土地改良施設等の利活用及び保全整備の促進、地域住民活動を推進する人材の育成等を図るため造成した基金のことであり、平成5年～平成12年にかけて10億6千百万円を積み立てし、その運用益を事業費に割当していた。

しかし、定金利により運用益が低下したため、平成16年度から国の指導のもと基金元本を切り崩して必要事業費を確保している。(基金残高946,903千円【H29.3末時点】)

■事業予算の内訳

事業名		事業費 (千円)	備 考
中山間ふるさと秋田づくり総合支援事業		18,942	うち基金対象事業費 16,992千円
1. 魅力あふれる農山村創生事業		14,907	
(1) ふるさと秋田応援事業		6,462	旧ふるさと秋田応援オーナー 促進事業(～H27)
(2) “Akita活力人”ちいき応援事業 ・地域活性化をサポートする人材が地域と共同で 行う取組への支援 ・上記取組を通じた新たな人材の育成を図るため ワークショップと活動報告会を実施		2,908	
(3) 農村での交流拡大ブラッシュアップ事業		1,950	うち国庫 1,350千円 一般財源 600千円
(4) 農村への誘客プロモーション強化事業 ・農村を巡るスタンプラリー業務 ・農村情報誌作成		3,587	
2. 活力ある農山村チャレンジ事業		4,035	
(1) 調査研究事業 ・農福連携マッチング調査の実施 等		1,496	
(2) 推進事業(啓発普及活動支援) ・棚田保全や多面的機能に係る県民啓発 等		2,199	・「守りたい秋田の里地里山50」の選定 ・パンフレット作成・配布 等
(3) 研修事業(人材育成) ・ふるさと水と土指導員の養成 等		340	・全国研修会への参加等

中山間ふるさと秋田づくり総合支援事業の平成28年度事業実績

中山間地域の抱える課題を解決するため、農地等の多様な地域資源を活用し、地域住民と地域を応援する支援者との交流の活発化を通じて地域活性化を図るとともに、持続可能なビジネスモデルの創出等により、ふるさと秋田づくりを総合的に支援した。

1. 魅力あふれる農山村創生事業

中山間地域等の地域資源の活用による子どもの農業体験等の実践活動を通じて、地域間交流や世代間交流を促進するとともに、農地・農業施設の保全・活用を図り、農地等の有する多面的機能に係る一層の理解の醸成を図る。

(1) ふるさと秋田応援事業

地域資源を活用した実践活動を支援

- 取組エリアが市町村(新規) 6 地区 (上限 50 万円)
- 取組エリアが全県(新規) 2 地区 (上限 100 万円)
- 平成27年度の継続活動地区 13 地区 (上限 10 万円)

市町村名	実践団体名	委託料 (千円)	主な活動目標	目標値	実績値
大館市	大館市まるごと体験推進協議会	500	宿泊体験等参加児童数	44 人	44 人
北秋田市	戸島内稲作研究会	500	農業体験等参加者数	200 人	80 人
秋田市	(株)スクールファーム河辺	500	新品目(サフランの分球数)	1,500 株	1,322 株
井川町	(農)イカワ改拓社	500	農業体験等参加者数	20 人	14 人
由利本荘市	(特非)あきた菜の花ネットワーク	500	農作業体験受入研修生徒数	100 人	86 人
羽後町	田代村体験協議会	381	民泊受入農家数	25 戸	- 戸
県域	(特非)秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会	988	研修受講者数(グリーン・ツーリズムリポーターの育成)	50 人	47 人
県域	(特非)秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会	982	ツアー参加者数(農村体験ツアー)	90 人	80 人
大館市	陽気な母さんの店(株)	100	樹木オーナー数(果樹)	20 人	20 人
藤里町	(株)白神ぶなっこ教室(横倉)	100	オーナー数(棚田)	20 人	19 人
三種町	田舎ぐらし大学みたね	100	体験交流者	50 人	81 人
男鹿市	安全寺里山保全会	100	オーナー数(棚田)	50 口	29 口
大仙市	余目地域活性化対策いきいき会議協議会	100	オーナー数(里山の田んぼ)	40 口	41 口
大仙市	いきものみつけファームin大仙おぼこ推進協議会	100	オーナー数(花火米)	13 人	3 人
美郷町	美郷都市農村交流推進協議会(ふるさとオーナー)	100	オーナー数(米、シャインマスカット)	120 口	115 口
横手市	大森町グリーン・ツーリズム推進協議会	100	オーナー数(棚田)	25 口	21 口
横手市	株式会社ウッディさんない	100	オーナー数(そば)	85 区画	73 区画
大仙市	西仙北グリーン・ツーリズム推進協議会	100	農業体験等参加者数	100 人	105 人
湯沢市	稲川土地改良区	100	保全・管理活動参加者数	1,000 人	831 人
美郷町	秋田県仙北平野土地改良区	100	水生生物調査等参加児童数	30 人	26 人
由利本荘市	間木ノ平サロン会	100	交流活動参加者数	40 人	30 人
合 計		6,151			

<活動事例① あきた菜の花ネットワーク>

(目的)

ほ場では連作障害の発生が問題となっており、良好な作付環境の形成、有機作物の導入、栽培方法の検証研究をするとともに、農業体験メニュー化や加工品開発による付加価値の向上を図る必要がある。

(内容・実績)

- ・1口5,000円で菜の花オーナーを集い、その特典として、菜の花摘み取り、菜種の播種体験・収穫体験等を提供、20名が参加した。
- ・スノートレッキングツアーを開催し、延べ33人参加した。

<活動事例② 西仙北グリーンツーリズム推進協議会>

(目的)

少子高齢化により、農村の過疎化が進み集落の活気がなくなっているが、農業体験等を通じて、県外から多くの方に来てもらい、活気をもらって、農家の誇りを取り戻す。

(内容・実績)

- ・田植えや稲刈り体験、山菜採り体験等を実施し、県内外の学生を呼び込んだ。
- ・首都圏へPR活動に行き、東京農大生や農水省職員と懇談し、地域をアピールした。

<活動事例③ 田舎くらし大学三種>

(目的)

じゅんさいは加工で流通しているものが大多数、じゅんさいの生の美味しさを提供する機会を作ることで、都市部の一般消費者に普及させたい。

(内容・実績)

ウェブやチラシで情報発信することで、81人からオーナー登録があった。
新規オーナー登録数も年々増加している。(H26年46名→H27年27名→H28年5名)

<活動事例④ 秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会>

a) ふるさと秋田応援事業業務委託（都市と中山間地域等の交流に資する手作り活動）

(目的)

- ・秋田のグリーン・ツーリズムを体験することを通じて、秋田の農業や農村について理解する。
- ・秋田を離れたあとも、農業体験経験をいかして秋田をPRする人材（秋田グリーン・ツーリズムサポーター）を育成し、当協議会でPR活動を依頼する。

(内容・実績)

- ・合計3回のグリーン・ツーリズム体験研修を実施し、延べ47名(うち外国人14名)が参加、14名がサポーターとして認定を受けた。
- ・認定サポーターは知識を蓄えるため積極的に他のイベントにも参加しており、現在は、SNSを活用しての情報拡散のサポート等で活躍している。

<活動事例⑤ 秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会>

b) ふるさと秋田応援事業業務委託（「食」、棚田や田園空間などの自然・景観をいかした交流活動）

(目的)

- ・中山間地域の農地等の保全・活用を図るため、地域住民と地域を応援する支援者とのネットワークなど多様な形態で協働活動を構築し、これらの地域の情報発言と活性化を通して地域の活性化を促進する。

- ・県民（消費者）を対象とした農村体験・見学ツアーを実施する。

（内容・実績）

- ・夏の湯沢市秋の宮にて、木工体験・ピザ作り体験・川遊び体験・七夕絵どうろうまつり見学ツアーを実施。
- ・秋の横手市大森町にて、米粉のお菓子作り・棚田見学・りんごもぎ取り体験を実施。
- ・紅葉の森吉山（北秋田市阿仁）にて、ゴンドラ乗車・秋田内陸縦貫鉄道乗車・根古集落古民家での料理体験等を実施。
- ・延べ80名が参加し、アンケートでは9割以上の方が満足と回答、「普段行くことのない土地で貴重な体験ができた」「また観光等で利用したい」などのコメントが多数あり、グリーン・ツーリズムの魅力を発信できた。

（２）“A k i t a 活力人” ちいき応援事業

- ①農山村の活性化に取り組む団体が、地域住民と協力して実践する、農業生産、食・伝統文化等の魅力ある地域資源を活用した企画を募集し、それを支援する。
3年以上の取組の継続を原則としており、50万円／年を2年間支援する。

番号	振興局	市町村 (地域)	採択 年度	団体名 (代表者)	活動目的	活動内容	H28委託料 (予定)
1	北秋田	大館市 (釈迦内)	H27	釈迦内SP実行委員会 (日景 賢悟)	小学生のふるさとキャリア教育、地域ブランドとしてのひまわりを活用した交流人口の拡大。	休耕田を活用したひまわりの植栽、ひまわりの種・茶・油などのオーナーへの提供、ひまわり畑のビューポイントの設置など。	500,000
2	秋田	秋田市 (仁井田)	H27	水土里の野菜倶楽部 (上村 隆策)	農村の地域資源の再発見とその活用による地域活性化。	伝統野菜の復活・特産化、子どもの農作業体験など。	500,000
3	仙北	仙北市 (田沢湖、生保内、神代)	H27	一般社団法人 神代活性化協議会 (佐藤 貢一郎)	キャリア教育を通じた子どものふるさとを愛する心の育成と地域の担い手育成。	小学生によるキッズマート、修学旅行での仙北市PRなど。	500,000
4	秋田	湯上市 (飯田川)	H28	たそがれ野育園運営協議会 (菊地 晃生)	自然農法を通じた都市と農山村の新たなコミュニティ・ネットワーク形成。 食育にかかる学習の場として、農地や里地里山の環境等を活用し、農山村地域の未来像を発見・発掘。	米や野菜の自給体験、伝統食づくりやもちつき等の農村体験、啓発普及イベントやワークショップの開催。	500,000
5	仙北	大仙市 (西仙北)	H28	大仙市西仙北 グリーン・ツーリズム 推進協議会 (佐々木 義実)	援農希望の学生と農山村地域の農家との農村体験等による交流拡大。相互の結びつきを強化。	農村交流にかかる学生と農家のニーズ把握、SNSを活用したシステムづくり、実証試験。	390,000
計							2,390,000



1. ひまわり畑展望台



3. 小学生によるキッズマート



5. 学生・農家の農業交流

- ②ふる水指導員等、地域活性化の取組を継続する地域の人材や、取組を支援する地域外の人材を育成する。

○取組内容

- (ア)上記の取組を実施している5団体各地区にてワークショップを実施し、地域の方々と情報共有や意見交換をすることで、次世代の人材育成を促進した。
(イ)5団体が国際教養大学にて活動報告会を実施。大学教授や県内のふる水指導員、Akita ふるさと活力人等にも参加してもらい、スキルアップを図った。

○取組実績

- (ア)ワークショップ延べ62名参加
(イ)活動報告会37名参加

(3) 農村での交流拡大ブラッシュアップ事業

住民の農山漁村体験に対するニーズは高度化・多様化してきている。そこで、そのニーズに対応できる受入態勢を構築するため、県内1地区（横手市）において、専門家派遣による既存メニューの磨き上げや、webによる情報発信等の取組を実施する。

①現地調査（平成28年11月21日～11月22日）

専門家と横手市でG・Tに取り組む農家をまわり、現行の農業体験イベントや情報交換を行い、課題や体験メニューの洗い出しを実施。

②意見交換会（平成29年1月11日）

リスクマネジメントの勉強会や雨天時・降雪期間の体験プログラムについての意見交換を実施。

③実践・検証（平成29年2月27日～2月28日）

①、②を踏まえた体験プログラムを実施するとともに、ゲストとして、ライターや写真家にも参加していただき、体験内容のさらなる磨き上げを実施。

※専門家：(株)農協観光 営業企画部 地域交流推進課 専任マネージャー 大場大樹 氏
※ライター：小堺 丸子 氏、写真家：大西 暢夫 氏、イラストレーター：河原崎 彩子

(4) 農村への誘客プロモーション強化事業

本県の中山間地域等の有する地域資源の魅力、農地や土地改良施設の有する多面的機能の役割・重要性について広く県民の方々に関心を持ってもらい理解を深めるための取組を実施する。

①農村を巡るスタンプラリー業務委託

委託先：秋田県土地改良事業団体連合会
委託費：702,000円

②農村情報誌作成業務委託

委託先：秋田活版印刷(株)
委託費：2,030,400円

①農村を巡るスタンプラリー業務

平成 28 年度は「湯沢市」が種苗交換会の開催場所であったため、秋田県南にあるため池等の農業施設や農家民宿・農家レストランなどの農山漁村体験施設を舞台にスタンプラリーを実施した。

・配布部数：5, 000部

・応募数：320通

＜応募者の主な感想＞

○身近にあった農業施設等を知るよい機会となった。綺麗な場所が多かった。

○頭首工等が農業施設だったとは知らなかった。

○スタンプを押す施設数が少ない、もっと追加してほしい。

②農村情報誌作成業務委託

農家民宿・農家レストラン・農産物直売所等の地域情報を集約したグリーン・ツーリズム情報誌「秋田ぐりーんのおと」を作成し、本県の魅力を広く県内外に発信した。

・発行部数：5, 000部

2. 活力ある農山村チャレンジ事業

中山間地域等の資源、土地改良施設や農地が有する多面的機能の役割・重要性についての普及・啓発や、地域活性化に必要な人材育成・住民活動・営農活動への支援を講じるとともに、障害者就労にかかわる調査・把握により、今後の農地保全活動への活用を図る。

（1）調査研究事業

- ・ 農福連携マッチング調査—— 農福連携に係るニーズ把握、障害者就労モデル実証
- ・ 再エネ活用実証展示 —— 再エネの農業関連への活用方法検討、小水力発電装置の実証展示

（2）推進事業

- ・ 啓発普及資料の作成、配布 —— 「新・田舎人」の年4回配布、農業農村の写真募集キャンペーン等
- ・ 秋田県農山村ふるさと保全検討委員会の開催（2回）
- ・ 「守りたい秋田の里地里山50」に10地域を認定（累計24地域）し、秋田県の公式ホームページ「美の国あきたネット」で公表。パンフレット3,000部を作成し、県内外のイベントで配付。

（3）研修事業

- ・ ふるさと水と土基金全国研修 —— 地域づくりや地域資源の保全と活用についての基本的知見の習得や活動事例の共有、情報交換を行うことを目的とした研修へふる水指導員を派遣

- ・ ふるさと水と土指導員の活動について
 - (7) H7年度制度化、市町村長の推薦に基づき「ふるさと水と土指導員」に任命し、H29年3月末現在で、31名が農作業体験や水環境保全などの地域活動を実施している。
 - (イ) 中山間地域等における土地改良施設や農地が有する多面的機能・役割など専門的な知識を有し、都市住民等との交流を通じた保全活動を実施、又は助言推進指導を行う地域住民活動のリーダー的存在として活動している。

【H28年度実績】

	氏 名	活動地域		実践団体	活動内容	参加人数
		管内	市町村			
1	阿部 進	雄勝	湯沢市 (稲川町)	稲川土地改良区	農作業体験、農業水利施設等見学会	831人
2	佐尾 和子	山本	藤里町	(株)白神ぶなっこ教室	棚田で田植え、稲刈りツアー ホテル見学ツアー、生物探しツアー	62人
3	佐藤 昇悟	平鹿	横手市 (大森町)	大森グリーン・ツーリズム推進協議会	左記団体の指導員として活動	60人
4	佐々木 義実	仙北	大仙市 (西仙北町)	西仙北町グリーン・ツーリズム推進協議会	学生組織の創設、農作業体験	190人
5	日景 賢悟	北秋田	大館市	釈迦内SP実行委員会	釈迦内サンフラワープロジェクト	1,250人
6	鎧 長秀	秋田	潟上市	—	“Akita活力人”ちいき応援事業 ワークショップ等への参加・助言	62人
7	浅野 慎太郎	仙北	仙北市 (田沢湖町)	神代活性化協議会	左記団体の指導員として活動	200人
	計					2,655人

